



かとう だい き
加藤 大樹

生年月 1988年5月千葉県生まれ
最終学歴 2014年東京大学大学院
新領域創成科学研究科
社会文化環境学専攻修了
業務経歴 2014年西松建設㈱入社
現在 設計主任
●担当した主なプロジェクト
2017年 イオンモール徳島
2018年 センコー湖東倉庫
2021年 三岐鉄道本社屋
2022年 高松再開発大工町街区

■青年技術者のことば

これまでの経験を振り返ってみると、設計者の役割とは、建築のあるべき姿を模索し、かたちにすることであると感じている。

建築のあるべき姿を描き出すにあたり、まず拠り所となるのが施主の思いである。その思いを表現するものは、臆げないイメージを表すスケッチであったり、明確な基本計画図面であったり様々である。それらをしっかりと反芻し、明確な思いのみならず、未表出の思いにまで想像を巡らせて解釈し、それを施主と共有することが大切であると考えている。

また、建築の姿を細部まで描き出すためには、設計者の思いが必要不可欠である。その建築に関わる人々の「らしさ」、その建築がたつ場所の「らしさ」を込めた建築をつくりたい。これが私の設計者としての思いである。施主の思いと設計者の思い、これらの相互作用が建築のあるべき姿へ導くと考えている。

建築のあるべき姿に限りなく近づけ、かたちにすることがすなわち、人々に親しまれ、愛される建築をつくることにつながるのだと思う。そして建築のあるべき姿とできあがったかたちとの間合いに設計者としての力量が現れる。その間合いをできる限り近づけるべく、日々設計者としての自己研鑽に励み、力量を高めていきたい。

■すいせん者

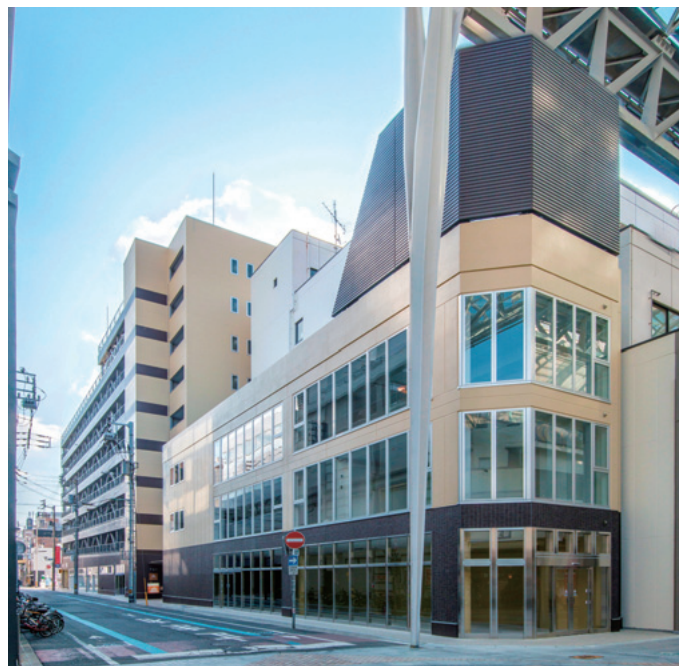
廣瀬智之
西松建設㈱ 西日本支社
建築設計部 部長



三岐鉄道本社屋



イオンモール徳島



高松再開発大工町街区